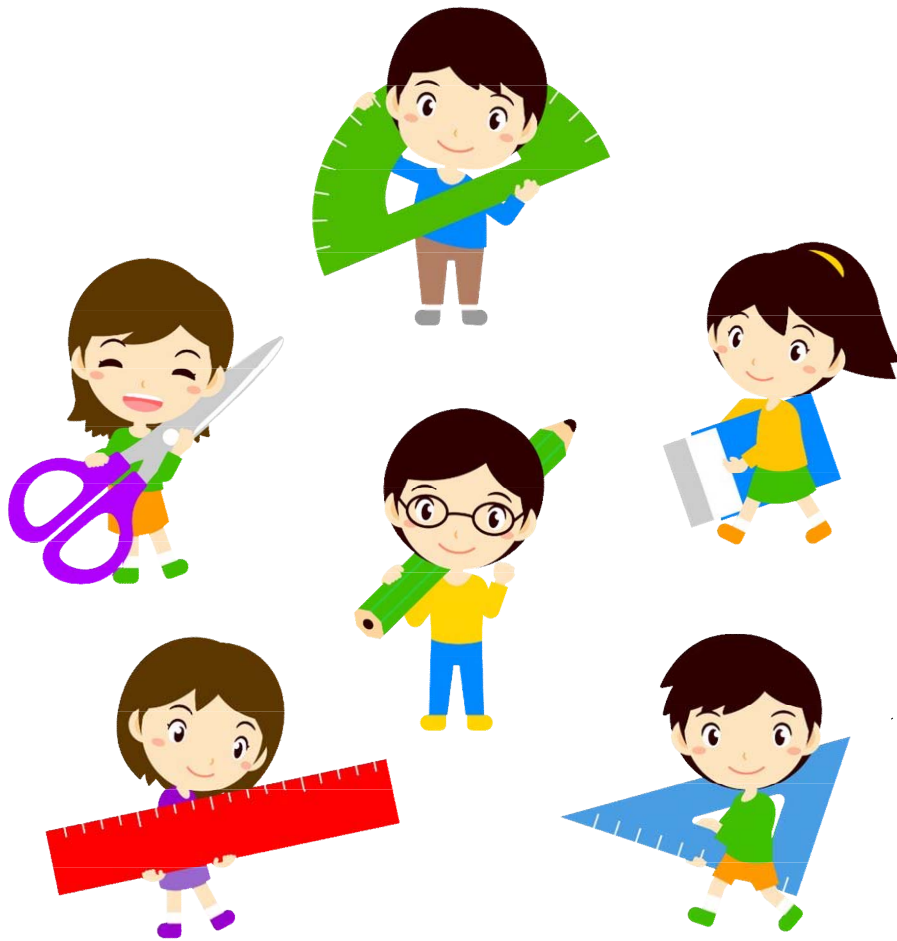


令和元年度

教育委員会の点検・評価表



大館市教育委員会

教育総務課

I 点検・評価の主旨について

1 点検・評価の主旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければなりません。

本市教育委員会では、この法律の主旨にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対して明確でわかりやすい説明を行うため、本報告書を作成し議会に提出するとともに公表するものです。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条に規定する教育委員会で職務権限とされている事務のほか、令和元年度の事務や取り組みとし、学校教育や生涯学習に関することなど、本市教育委員会が所管するすべての事務を対象の範囲としています。点検・評価に当たっては、大館市の「教育大綱」に掲げる「基本理念・基本目標」に沿って、重点施策としている事務・取り組みを選定して実施しました。

3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ること（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項）が求められていることから、学識経験者2名以上を選任し、点検・評価について個別に意見を聴取しました。

4 報告書の作成

報告書の作成手順は、次のとおりです。

- ①各課・館において、令和2年度の所管事務の点検・評価項目及び目標（重点施策点検・評価表の目標、活動内容）を作成します。（3月）
- ②4月上旬までに、令和元年度の実施状況と見込みを取りまとめ、報告書（点検・評価）素案を作成します。
- ③学識経験者から、報告書素案について意見を聴取し、報告書案を作成します。また、点検・評価の目標設定案について、意見を聴取します。（5月）
- ④教育委員会（5月定例会）で、報告書について決議します。また、点検・評価の項目内容を報告し了承を得ます。（5月）
- ⑤報告書を6月議会に提出するとともに、ホームページ等で公表します。

目 次

基本理念 ふるさとに学び未来を創造できる「人財」の育成			
I	点検・評価の主旨について		頁
	1 点検・評価の主旨		1
	2 点検・評価の対象		1
	3 学識経験者の知見の活用		1
	4 報告書の作成		1
II	点検・評価の結果について		
基本目標			
	評価項目・内容	担当課	頁
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
	重点施策		
	1 安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る	教育総務課	3
	2 健康維持増進の場としてのスポーツ、レクリエーション施設の整備充実に努める		4
	3 豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める		5～6
	4 大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める		7
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化		
	重点施策		
	1 ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める	学校教育課 教育研究所	8
	2 地域学校協働活動を推進し、スクール・コミュニティーの形成を図る		9
	3 共感的・協働的な学び合いへの充実を図り、おおだて型授業(響学)を推進する		10
	4 次期学習指導要領を見据えた教育環境や基盤の整備を推進する		11
3	ふるさとの誇りと未来をはぐむ生涯学習の推進と支援		
	重点施策		
	1 ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める	生涯学習課 中央公民館 地区公民館 勤労青少年ホーム 女性センター	12～13
	2 「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		14～18
	3 高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する		19
	4 「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する		20～23
	5 「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める		24
	6 伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する		25～26
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する		
	重点施策		
	1 大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する	歴史文化課	27
	2 郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する		28
	3 文化財の保護と調査を進め、未来に伝える		29～30
	4 歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める		31
5	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充		
	重点施策		
	1 スポーツ関係団体との連携・支援を強化し、生涯スポーツを推進する	スポーツ振興課	32
	2 スポーツ少年団や地域スポーツ指導者の発掘・育成に努める		32
	3 東京2020オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン事業を推進する		33
	4 大会や合宿を誘致し、スポーツツーリズムによる地域活性化を推進する		33
	5 近隣市町村と連携し、スポーツ施設の広域利用を推進する		34
	6 多様なニーズに対応したスポーツ・レクリエーション活動の環境整備に努める		34

重点施策点検・評価表

1-1

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る
	担当課(館)
	① 学校の改修・修繕など、経年劣化対策の実施による、快適な学習環境の整備
	教育総務課
活動内容	<p>・小中学校25校中、9割にあたる22校が建設後25年以上を経過し、学校施設の老朽化対策を早急に講じなければならない時期にきている。</p> <p>・施設や設備の改修・修繕が必要な箇所は年度の予算要求前に調査をし、小規模から中規模のものは改修内容の分類や必要経費を算出して、危険度などの優先順位を定めて計画的に工事を実施する。大規模改修や建て替えが必要な場合は、国の補助金を活用して実施を検討する。</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>今年度は、老朽化に伴う突発的・緊急的な破損・故障が多数発生したが、直ぐに対応し学校運営に支障を来さないよう速やかに適切な処置を実施した。 計画的な改修工事については、優先順位や緊急性を判断し、必要に応じて年度途中であっても工事費を追加しながら限られた予算を最大限に活用して施工した。 平成31年3月に「大館市学校施設長寿命化計画」を策定したことから、改築と大規模改修の実施スケジュールを検討したところであり、具体的な作業は令和2年度から実施する。</p>
課題等	<p>今年度策定した「第2次大館市学校教育環境適正化計画」では、今後10年間の具体的な学校再編計画を示していないため、「大館市学校施設長寿命化計画」をベースに、改築・大規模改修計画を策定することになるが、今後5年間の整備計画に将来統合の対象となると想定される学校をどこまで整備するか、見極めが必要となる。</p>
	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	<p>学校教育の重要な要素となるのが、教育環境の整備充実にある。このことを前面に打ち出して進めている点を評価したい。そして、破損・故障が発生したときに、直ぐに対応したことも評価できる。また、改修工事の実施について、緊急性を判断材料としていることは、学校側として安心して教育に向かうことができる環境整備が期待できる。</p> <p>加えて、課題等の中で、よくある10年計画ではなくて、今後5年間の整備計画にスポットを当てて進めていることも評価できる。</p>
	② 環境整備の充実に向けた校務主事の技術力向上
	教育総務課
活動内容	<p>校務主事の正職員が補充されないため、学校用務未経験者を臨時・非常勤職員として採用しているが、学校環境整備に必要な技術が不足しているため、年2回以上の「現業職場安全衛生講習会」を開催し、必要なスキルの向上を図る。</p>
点検評価	<p><input checked="" type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>校務主事54名中、臨時・非常勤職員が6割を超え、学校用務未経験の臨時・非常勤職員のみを配置している学校も数校あり、スキルの向上が急務となっていた。 そのため、春は刈払機・芝刈機の操作講習会、秋は冬囲い講習会、冬には除雪機講習会と目標を上回る計3回の現業職場安全衛生講習会を実施した。これにより、経験年数が浅い職員にとっては、環境整備に必要な技術の向上が図られた。 また、女性校務主事に対しては、食中毒防止講習会に参加を要請した。</p>
課題等	<p>定年延長等により、臨時・非常勤で採用する職員の高齢化が顕著となってきており、70代が増加してきている。 機械操作が伴う作業や高所での作業には危険が伴い、体力も必要になることから、安定した雇用により若年校務主事の配置を可能とさせるアウトソーシングの導入を検討する必要がある。</p>
	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	<p>スキルアップの向上に着目して研修等を行っている。これは、教育環境の整備に直接つながり、視点が非常にいいと思う。また、作業による事故を未然に防ごうとしており、今後も継続してほしい。</p> <p>今後は、職員の意欲を高めるために、管理職(校長等)が指示した内容の結果について確認し、子どもたちのためになっている、ということを随時評価することが必要と考える。</p>

重点施策点検・評価表

1-2

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
2	健康維持増進の場としてのスポーツ、レクリエーション施設の整備充実に努める		担当課(館)
	① 適切な補修・改修の実施による施設の維持		教育総務課
	活動内容	<p>・田代野球場の内野グラウンド排水改修工事を降雪前に完了させ、令和2年度シーズンの通常使用を可能にする。 各施設の快適性や安全性に配慮した補修・改修工事を計画的に進め、利用者の利便性や安全確保を図る。</p>	
	点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>今年度は例年に比べて降雪量が極端に少なかったことから、田代野球場の改修工事は十分な工期を確保して工事を完成させることができた。令和2年の利用開始は通常どおり行われる予定となっている。 また、昨年オープンした二ツ山総合公園の水遊び場は、多くの子どもたちでにぎわう予定だったが、クマの出没により5月と7月を立ち入り禁止とした。 利用制限は、どの施設においても考えられるため、施設の開放は、利用者の安全確保を第一に考え、併せて施設や設備の安全性にも配慮して補修・改修を実施した。</p>	
	課題等	令和2年度から、スポーツ振興課は教育委員会を離れ「観光交流スポーツ部」に移管されるが、これまで当課で行ってきた体育施設の維持補修や工事発注は、今後、スポーツ振興課で行うことになるため、当面は両課で連携し、維持管理や補修方法等の引き継ぎを行っていく必要がある。	<p>取組の方向性</p> <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	暖冬少雪による天の恵みを利用して事業を推進し、予定していなかったところまでできたことは、積極性が感じられ評価したい。降雪量やクマの出没については、自然との付き合い方が試される事例だと感じた。暖冬小雪や野生動物の動態などの自然に逆らうことなく、自然に対応した事業を行っている。クマの出没に対する対応については、事故につながらないよう、きちんとした対応をしていると感じられる。	
	②		教育総務課
	活動内容		
	点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p>	
	課題等		<p>取組の方向性</p> <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見			

重点施策点検・評価表

1-3-1

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める
	担当課(館)
①	ほくしか鹿鳴ホール(大館市民文化会館)から発信する芸術文化鑑賞の充実
	教育総務課
活動内容	4月からネーミングライツ(命名権)を導入し、歳入の確保が図られることから、命名権料を活用して自主事業を充実させ、芸術文化鑑賞の機会を提供する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市の財源確保及び企業のノウハウを活用した施設運営を市民サービスの向上を目的として、令和元年度からネーミングライツ(施設命名権の売却)を導入し、愛称が付与された。5月に記念セレモニーを開催したほか、館内にパートナー企業のブースを設置し、パートナーの紹介とともに、市内外から訪れる来館者に愛称の周知を図った。 また、昨年度末から、2階会議室等を利用する高齢者や障害者等の不便を解消するため、1階にある展示室を2階同様に利用できるようにし、それに合わせて料金区分も変更した。
課題等	文部科学省から示されている「文教施設長寿命化計画」の策定期限が令和2年度までとなっているため、年度中に策定しなければならない。 また、駐車場不足などの残された課題については、解決に向けて近隣公共施設の敷地の活用や拡充における費用対効果の検証に取り組む必要がある。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	ほくしか鹿鳴ホールというネーミングは、大変すばらしい名称だと思う。 施設の利活用について、高齢者や障害者に視点を当てて変更したことは適切であった。 また、「文教施設長寿命化計画」について、新型コロナウイルス感染症に対する対応が大変なときではあるが、是非、計画を策定してほしい。 駐車場の利用について、満車のときなど、近隣の駐車場を記載しているガイドを配布し、案内を工夫するなど、利用者に配慮した運用がなされている。
②	社会教育施設の維持管理及び充実
	教育総務課
活動内容	比内公民館研修室エアコン改修工事を夏前までに完了させ、田代公民館授乳室改修工事などは遅滞なく実施し、社会教育施設の良い施設環境の維持を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 真中公民館駐車場舗装工事や比内公民館のエアコン設置工事などの社会教育施設の維持改修や、中央公民館の危険ブロック塀を撤去した安全対策工事、女性センターの託児室の改修工事等を実施し、利用者の利便性と良好な環境整備の向上に努めた。 その他、年度中に発生した緊急工事・補修工事等については、補正で予算を確保し年度内に全て完了させた。
課題等	公共施設等総合管理計画の「個別施設計画」では、現在使用中の施設は、全て当面活用することとしているが、施設や設備の老朽化に伴う統合や廃止等を検討していく必要がある。 そのため、令和2年度中に「社会教育施設長寿命化計画」を策定し、目的に沿った施設の整備・充実や、解体・改築などの方針を検討していく必要がある。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	社会教育施設の特徴は、施設数が多いこととその場所が分散していることにある。それにもかかわらず、48施設全てに利便性を高めて、良好な環境整備が図られている。48の施設に対応していくことは、毎年何かが起こることを想定し、継続した対応が望まれる。

重点施策点検・評価表

1-3-2

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める
	担当課(館)
	③ 社会教育施設の安全性の確保
	教育総務課
活動内容	建物の経年劣化が進む小畑勇二郎記念館の改修工事を年内に完了させ、利用者の安全と安心を確保する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 通路(廊下)の沈下や外壁の劣化等を改修した工事が完了し、今後の利用者の安全確保が図られた。また、記念館のPRと見学者の増加を図るため、劣化した案内板の更新工事を実施した。これらの改修及び工事により、低迷していた見学者数に増加が見られた。
課題等	安心安全な施設の存続が図られたことから、積極的な利活用に向けた見学者数の増加などにさらに取り組む必要がある。 取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	小畑勇二郎は、秋田県知事として実績を上げただけでなく、生涯教育の先駆者であった。郷土が輩出した人を風化させない取り組みを評価する。また、いつでも利用したい、見学したいという人に応える体制が維持されていることも評価する。記念館に多くの人に来てもらえるよう、無料入場券の配布などを考えてはどうか。
	④ 交流人口拡大に向けたニプロハチ公ドームの活用及び整備
	教育総務課
活動内容	平成30年度は16年ぶりとなるコンサートの開催を実現し、市内外から約3,000人を集客して地域の活性化につなげることができた。引き続きイベント関係者などにドームの魅力を発信するとともに、指定管理者及びネーミングライツ・パートナーと連携し、スポーツのみならずさまざまなイベント開催などに利活用して交流人口の増加につなげていく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 大規模なコンサートなどは開催出来なかったが、例年開催されるきりたんぼまつりやエコフェア&マンモスフリーマーケットのほか、10~11月に開催された秋田県種苗交換会には80万人を超える来場者があった。これにより、年間来場者数が100万人を超え、交流人口の増加につながるとともに、天候に左右されずに開催できる施設の魅力が発揮された。また、4年ぶりに有名アーティストのコンサートリハーサル会場として利用され、イベント関係者にドームの魅力を伝え、今後のコンサートの招致を図った。
課題等	今後も引き続き、イベント関係者にコンサートの開催を働きかけていくが、今回の有名アーティストのリハーサルが行われた際にも「音漏れに対する騒音苦情」が発生したことから、コンサートを実施するに当たっては対応策を検討しておかなければならない。 またコンサート以外でも、ネーミングライツ・パートナーと連携しながら、野球大会や祭事など集客力の見込まれる新たなイベントの企画に取り組む必要がある。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	天候に左右されない大規模な施設を有することが、市の魅力の一つとなっている。そのことを有効に活用して、年間100万人を超える利用を達成したことは、胸を張ることができる。ドームは、コンサート会場ではないので、音漏れに対する苦情は発生するが、周辺の地域住民の理解が得られるよう、今後とも継続した対応が必要と考える。また、シーズンオフの時期にネーミングライツ・パートナーと連携しながら、野球大会などを実施する取り組みはとても良い企画である。

重点施策点検・評価表

1-4

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
4	大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める
	担当課(館)
	① 教育委員会施策の情報発信の強化
	教育総務課
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 毎月開催する教育委員会会議に、施策やその実施状況の報告等を的確に行い、協議・討議・提案を諮り、議事録をホームページ等で公表する。 教育委員会点検・評価の公表や総合教育会議の議事録など、教育委員会の活動を市民及び全国に発信し、教育の産業化構想やおおだて型アクティブラーニングの周知を図るとともに、大館で学ぶ交流人口の拡大に努める。 開かれた教育委員会としての透明性を図るため、ホームページの他、定例記者会見や報道機関への取材要請などを活用し、情報発信をより積極的に行う。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>教育委員会の活動を理解してもらうため、総合教育会議及び教育委員会会議の議事録をホームページに公表し、施策の取り組みの透明化を図った。 また、学識経験者の知見を活用して実施事業の客観性を確保するため、教育委員会の重点施策の点検・評価を実施し、その結果を公表して教育委員会が進める大館の教育への理解に努めた。 ホームページを活用した施策・事業の周知は、定例記者会見や報道機関への取材要請などで積極的な情報発信に努めた。</p>
課題等	令和2年度からホームページが新しくなるが、慣れない閲覧者が分かりやすく利用しやすい環境の構築が必要である。 また、全国から関心を集める大館の教育の理念と実践を、ホームページを活用して全国に情報発信しているが、何よりも市民に対して周知を図ることが重要であるため、市広報や地元紙に市の取り組みなどを掲載して、大館の教育への理解を得ることが大切である。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	大館市の教育は注目度が高いので、分かりやすく情報を発信しなければならない。様式、開きやすさを工夫して継続してほしい。市民に対して周知を図ることはとても大きい、そのことを前面に出していることは、大変大事なことである。 今後も、市民に対して周知を図ることを重点として取り組んでほしい。
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	
	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

2-1

基本目標			
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化		
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める	担当課(館)	
	① 大館の未来を切り拓くための総合的人間力(「人間的基礎力」「大館市民基礎力」「大館市民実践力」)の育成		学校教育課 教育研究所
	活動内容	ふるさとキャリア教育9年目を迎え、「大館盆地を学舎に、市民一人一人を先生に」を具現化するために、子どもハローワークを充実させる。また、高校や大学と目標を共有し、地域や企業と一体化した取組を充実していくことで、社会への出口を確実に地域につなぐ。生涯学習との連携により、ふるさとキャリア教育を学校教育にとどめることなく、市民意識の醸成につなげる。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
	課題等	学校教育を卒業した市民への継続的な取組として、市民によるふるさとキャリア教育、リカレント教育とどのように連携していくか、生涯学習課との連携により、新たな発展を模索する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	教育の方向性、手法が分かりやすく設定されている。地域と一体化した教育となり、子どもたちの力量形成につながっている。全国学テの意識調査において、自己肯定感が高いのも、「地域のために何をなすべきか考えることがある」が高いのも、教育の成果と見なすことができる。課題の捉え方も、市民相互の成長を包含していて賛同できる。	
	② いじめ・不登校問題の予防及びその克服のための支援体制の充実		教育研究所
	活動内容	いじめ・不登校調査の分析と活用、関係機関との連携により、未然防止と早期対応を一層充実させる。特に、不登校については、早期対応を全小中学校に徹底するとともに、管理職、生徒指導主事の意識を高め、家庭への支援については関係機関との連携を強化する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
	課題等	不登校の背景として、ネットやゲーム依存による昼夜逆転、親子関係や養育の課題が事例として明らかになっている。社会全体が、ネットやゲーム依存への危機感を高め、児童生徒を守っていく機運を醸成するために、(仮称)ネットゲーム等依存防止対策条例の策定を検討していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	「ネットゲーム等依存防止対策条例」という文言からすると、子どもを押さえてしまうようにも感じられるが、困っている親には「止めさせたい」という気持ちをもたせることができるのではないかと。不登校については、おおとり教室や少年相談センター、子ども課など多くの相談機関を市が用意しているので、子どもにとって気持ちの変化や現状を抜け出すきっかけになると思う。一人一人に合わせた対応の仕方で、時間と日数をかけて長い目で見てやってほしい。		

重点施策点検・評価表

2-2

基本目標			
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化		
重点施策			
2	地域学校協働活動を推進し、スクール・コミュニティーの形成を図る		
	担当課(館) 学校教育課 教育研究所		
① ふるさとキャリア教育を根幹とした特色ある学校経営の展開			
活動内容	ふるさとキャリア教育夢事業、ふるさとキャリア教育ステップアップ事業を活用して、各校の百花繚乱作戦をより充実・発展させ、地域全体を巻き込んだ教育活動にしていく。地域の学習材等の教育資源を活用した授業や起業体験活動の開発を支援、奨励し拡充していく。		
点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標どおり (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80%未満) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る ふるさとキャリア教育ステップアップ事業(3校に30万円)を活用して、早口小の徒渡り、城西小の弥栄プロジェクト、東中の創立50周年事業のプロジェクトマップ上映と、新たな取組、展開につながった。他にも、東館小学校が浅利氏を調査することで山梨県中央市とのシンポジウムや市教職員研究実践発表会でその成果を発表し、大きな反響があった。		
課題等	各校の実践内容を把握し、どのような橋渡し、協力ができるか、情報提供をしていくとともに、活動によって子どもにどのような資質能力が育つのか、地域にどのような影響があるのかなど、学校が成果を意識できるよう指導していく。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>取組の方向性</td> <td> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度		
学識経験者等の意見	ステップアップ事業は目標と活動が連動している。百花繚乱作戦で子どもたち一人一人が提案できる状況は、成長できる大きな機会となっている。自分たちが考えたことを成し得た時の達成感で、成長を立証できると思う。また、マスコミにも取り上げられることで、自分がやったことに対する重さを感じ、次へのモチベーションにつながっていく。達成率が「目標を上回る」になっているのは適切である。		
② 地域に開かれた教育活動の取組による元気の発信と地域貢献			
	学校教育課 教育研究所		
活動内容	企業博覧会やきりたんぼまつり等、地域の企業や団体が企画するキャリア教育が充実するよう助言し、学校の協力を促す。保護者を含めた市民へふるさとキャリア教育の理念や各校の百花繚乱作戦をマスコミを積極的に活用して情報発信する。		
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 各学校が地域の特色を生かし、地域を巻き込んで様々なプロジェクトを展開している。日々、地元新聞でも報道されたり、各校のホームページやブログ等で発信したりすることで、各校の取組が周知されている。地域興し協力隊も各校の取組をフェイスブックで常に更新している。早口小の徒渡りは全国的にも珍しい活動として、全国ニュースにも紹介されるなど、各取組が注目されている。		
課題等	SNSによる発信は、全国からより多くの方々の目に留まるように研究し、さらに充実していく。地域興し協力隊が、移住交流課等の他課と情報共有し、連携先を開拓する。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>取組の方向性</td> <td> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度		
学識経験者等の意見	テレビや新聞の取材を多く受け入れて情報を発信するのも、子どもたちのためなのだという捉え方をしたい。どの学校も遠慮せず発信してほしい。小さなことでも貴重である。「①ふるさとキャリア教育を根幹とした特色ある学校経営の展開」と「②地域に開かれた教育活動の取組による元気の発信と地域貢献」は連動していると考えられる。活動と成果を地域で共有できることが大きいし、学校や子どもたちのモチベーションの向上にもつながる。		

重点施策点検・評価表

2-3

基本目標			
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化		
重点施策			
3	共感的・協働的な学び合いへの充実を図り、おおだて型授業(響学)を推進する		担当課(館)
	① 第9次学力向上に関する提言の周知と、「おおだて型学力」育成に向けた授業改善		学校教育課 教育研究所
	活動内容	第9次学力向上に関する提言(3カ年)を受け、授業改善に向けた研修会を充実するとともに、学校訪問による適切な指導・助言により校内研究を充実させる。また、教育専門監、授業マイスター、コア・ティーチャーを活用した師範授業の提供、教育研究所による若年教員への授業支援などの取組により、「共感的・協働的な学び合い」を実現する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 教育研究所が「授業力向上支援研修」を主催し、授業技術や学級経営に優れた教員の授業を若手教員が年に2回程度参観できるようにした。また、感想記入に加えて授業者と参観者が対話する時間を20分ではあるが設けたことで、若手教員にとって大きな刺激となったことが感想から伺えた。 教師主導の一斉指導授業はほとんど見られなくなり共感性のある授業に移行しつつある一方、深い学びに至る授業を実現する指導力・教材研究については継続的に取り組む必要がある。	
	課題等	参加対象が採用2~9年目の教員としていたが、他県での教職経験があり新規採用になった教員にも、おおだて型授業を理解してもらうために、参観可能な体制にしていく。前教育専門監(現教育研究所長)の指導力を活用して、実地指導のできる体制も試行する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	授業力の向上で努力することは、教職員のゴールのない課題であるが、子どもに対する責務を果たそうとする気持ちを持ち続けてほしい。本市は改善の方向性が明確である。また、市内の様々な組織の中に、指導助言できる人材を随所に位置付けているのが心強い。	
	② 各校の研究実践を県内外に発信・交流することによる評価及び改善		学校教育課 教育研究所
	活動内容	新規の「おおだて型教育発信事業」を推進するため、教育アテンダント2名を活用し、大館市の教育ブランド48を全国の教育関係機関に発信する。各種研修や留学、教育実習、サマースクールを受入等を本格稼働し、各小中学校が外部との交流による情報交換や研究協議をすることで自らの実践を振り返る機会を得る。また、客観的な評価や感想を参考にすることで授業改善につなげる。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 地域興し協力隊の教育アテンダントが配置となり、教育ツアーコンダクターと2名体制で、年間69件の各種視察を受け入れ、大変高い評価を得ている(アンケート他)。首都圏からのサマースクール(15名)、初のウインタースクール(21名)の企画、運営を成功させ、次年度の見通しを持つことができた。11月8日には、文部科学省若手職員の主催する「教育・学びの未来を創造する教育長・校長プラットフォームin大館」を開催し、授業公開と共に全国の参加者と本市の教職員が交流する機会を得たことは大きな成果だった。	
	課題等	各校への視察内容を、授業参観だけではなく、各校の教職員と研究協議の場を設けることで、県外との情報交換ができることともに、直接外部からの感想や評価に触れ、視野を広げ、さらなる授業改善の意欲につなげる。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	県外からの訪問では授業参観だけでなく、一步踏み出して現場の先生と訪問者がディスカッションすることで、生で考え方を交換できる。大館にいながらにして、他県の参観者の知見を習得できる良い機会でもある。先生方の財産にもなり、子どもたちの成長につながる。他に開かれた授業という設定が効果を生んでいる。教育アテンダントや教育ツアーコンダクターという人材は、得がたいものがある。		

重点施策点検・評価表

2-4

基本目標		
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化	
重点施策		
4	次期学習指導要領を見据えた教育環境や基盤の整備を推進する	担当課(館)
	① 未来大館市民としての資質・能力を育成するための体制を構築する	学校教育課 教育研究所
	活動内容	小学校は2020年度、中学校は2021年度の完全実施を目指し、英語教育、道徳、プログラミング教育等に対応するため、関係機関と連携した推進体制を構築したり、カリキュラムの作成や教職員の研修を実施したりする。小学校外国語活動では、外国語活動支援員の配置、大館オリジナル教材を活用し「大館スタンダード」を進める。また、ふるさとキャリア教育の新たな視点として導入する経済教育を各小中学校で進める。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 小学校の新学習指導要領に対応する年間指導計画を教育課程編成委員会を組織して作成し、各校に配付した。また、全教科の指導書(英語・道徳の指導書や教材も追加)を予算化し、全小学校の学級に配付することができた。プログラミング教材は、小学6年生の理科教材を市教委に準備し、全小学校に貸出ができる体制とした。3~6年の外国語活動の全ての授業時間に、外国語活動支援員を配置できるよう増員した。 本市オリジナル教材(外国語活動・経済教育のテキスト)についても活用を図ることができた。
	課題等	体制整備や教材の準備ができたことから、それらが学校現場に十分に活用できるよう研修会や指導助言をしていくとともに、検証・評価をしながら改善を図っていく。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	行政は外国語などの指導書や教材を予算化し用意できたことで、教員の信頼を得ることができる。道徳や外国語の評価の仕方の準備を、怠りなく進めていることを大きく評価したい。小学校英語教育推進アドバイザーは、他市にも講話に行っているようだが、内容的にしっかりしていて分かりやすいという感想が聞かれた。経済教育は社会生活をしていく上で欠かせないものであるため、これからは楽しみである。
	② 学校と行政の連携により、個性や特性が発揮できる教育環境や教職員の職場環境の整備	学校教育課
	活動内容	第2次学校教育環境適正化検討委員会の提言をもとに、準備委員会を立ち上げ、基本方針を作成する。(学校の施設設備、プール、給食施設の検討も含む) 教職員の働き方改革を進めるために、校務支援システムによる事務負担軽減を図る。来年度の本格稼働を見据え、適切な運用に向けた準備・研修を行う。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 第2次学校教育環境適正化検討委員会の提言をもとにして、教育委員会内で構成する準備委員会で「第2次大館市学校教育環境適正化計画」を策定した。教育委員、議会への説明を終え、令和2年度には、長木小給食施設を北地区給食センターへの統合を進める。 校務支援システムが夏に導入され、段階的に講習会をしながら、試行を開始した。4月の本格稼働を目指して、何度も現場と意見交換をして進めている。まだ、システムに慣れるまではいかないため、不自由さはあるが今後、事務業務の軽減につなげていく。
	課題等	国が進めるギガスクール構想により、一人1台タブレットPCと校内にネット環境を整える。新たな時代の学習環境づくりに、行政と学校現場が十分共通理解しながら、児童生徒が便利な電子文房具として活用できるよう研究を進める。 教職員向けの校務支援システムの導入は完了したが、帳簿作成等の作成業務は始まったばかりであり、現場の声を拾いながら、使いやすいものにしていく。 令和2年度は長木小の調理場を北給食センターに統合するために、保護者の理解を得ながら、令和3年度の運用に向けた準備を進める。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	学び方の一手法としてタブレットを活用した学習がある。働き方改革として、校務支援システムの導入は、よくやったと評価したい。教職員の事務負担を軽減することで、子どもに目を向ける時間を確保できる。財政面など関係した各課がよくやってくれている。導入した価値観がしっかりしていないと、周りを納得させることができない。教育委員会が機能していると感じる。	

重点施策点検・評価表

3-1-1

推進目標	
3	ふるさとへの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める
	担当課(館)
	① 達人講座の実施
	生涯学習課
活動内容	地域のサークル等の講師(達人)が、小中学生(親子含む)を対象にボランティアで講座を開設し、22講座を実施する。昨年度より1講座以上多いメニューを考え、実施する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 今年度は22講座を予定していたが、2講座(古典舞踊を踊ってみよう!・オカリナをふいてみよう)は応募者が無かったため中止し、20講座(昨年16講座)を実施した。 新たに4講座を実施した。 平成30年度19講座開設(うち、申し込み無し1件、休講2件) 申込者数404人 令和元年度22講座開設(うち、申し込み無し2件) 申込者数340人
課題等	昨年度と同様、前期・後期・通年の3パターンで募集し、より受講しやすい体制づくりを行った。 講座数は増えたが、児童数の減もあり各講座の申込者数は少しずつ減少した。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	いい取り組みだと思う。継続していただきたい。
	② 人材リスト「おおだて人財名簿」の充実と活用
	生涯学習課
活動内容	高等教育機関(大学、短大)や学校ボランティア、公民館等から新規人材を発掘し、特技や知識を持つ市民を「人財」として募集・登録し、学校や公民館などさまざまな学習活動の場での活用を促す環境の整備を図る。昨年度刷新した名簿を市内各所(小中学校25校、社会教育施設等18か所)に配置し、市ホームページも更新する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 新規人財登録は1団体の増、活用は1件の申込みがあった。 令和元年度 登録50人 17団体 小中学校25校は、紙名簿を廃止し、庁内ネットワークのライブラリー活用とした。社会教育施設等18か所は、住民閲覧のため紙名簿とし、差し替え完了。市ホームページの更新も行った。
課題等	より広い周知をして登録件数増加や利活用の促進を図っていききたい。名簿の内容は、随時チェックしながら更新し、使いやすさを維持していく。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	(人財名簿を充実させるためには、)自薦だけでは厳しいものがある。他薦による、周りからの情報も得るようにするといいい。各公民館からの情報も得ながら、名簿を充実させることができると思う。高齢による名簿からの削除でなく、蓄えていってほしい。

重点施策点検・評価表

3-1-2

推進目標	
3	ふるさとへの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める
	担当課(館)
	③ 「大館市出前講座」の充実と活用
	生涯学習課
活動内容	市民の自主的な学習活動を支援するため、市の制度や事業等について市職員が出向いて説明を行う「出前講座(58講座)」を実施する。 平成29年度48講座 平成30年度53講座 令和元年度58講座 より多くの団体に認知してもらうため、利用件数50件増を目指す。
点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 令和元年度は、238件14,779人が受講し、昨年度より66件の大幅な増加となった。利用者は574人の減だが、幅広い組織・団体に利用してもらえた。 救急講座に加え、防災に関する申込みが多く、件数の大幅増加の要因となった。
課題等	救急や防災講座、健康など、生活に密着したテーマの希望が多いことから、一層の周知をしていきたい。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	大文字まつりで、はちくんダンス(上級編)を市長・教育長が若い人達と一緒に、先頭に立って踊ってくれているのは、市民には受け入れられやすいと思う。新たな初級編は、高齢者にも障がいのある人にもできると思うので、継続して広げていただきたい。
	④ 公民館事業への青少年の参加促進
	中央公民館
活動内容	各公民館が、小・中・高校生を対象とした事業を学校休業日を利用して開催し、参加を促進する。既存の事業がマンネリにならないよう改善を加え、新規事業も企画・立案し、新規参加者が年々増えていくよう配慮する。今年度実績:わんぱくスクール全9回24人(前年度9回19人)、ラジオ体操開始大会17団体150人(19団体250人)、夏休み将棋教室60人(60人)、夏休み囲碁教室10人(8人)、ラジオ体操終了大会10団体80人(13団体100人)
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 各公民館で、小中学生を対象とした事業を休日や夏・冬休みに実施した。「わんぱくスクール」や「キッズカレッジ」、「たしる学舎」などの通年事業では、複数館の合同学習も行った。単発では「将棋・囲碁教室」、「夏・冬まつり」、「新春書初め」などのほか、地区公民館では「星空観望会」、「算数・数学教室」、「サケの放流事業」「カヌー体験教室」など特色ある事業に取り組んだ。
課題等	青少年の参加を高めるために、小中学生が興味を持つようなイベントや活動を企画することが必要である。新たなメニューを取り入れたり、対象者の枠を拡げるなどの検討をしながら、参加者が増加するように配慮したい。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	ラジオ体操開始大会、終了大会の参加者数は減っているが、長年取り組んでいる事業であり、青少年の健康づくりや規則的な生活習慣を身に付けるためには最適な取り組みだと感じている。今後も頑張って継続していただきたい。

重点施策点検・評価表

3-2-1

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	① 学校支援活動事業の推進
	生涯学習課
活動内容	市内の全小中学校を対象として、学校で必要とする活動と地域住民の知識と経験をマッチングさせ、地域の方々のボランティア派遣や地域の教育力を学校教育へ活用するなど、地域ぐるみで子どもを育む環境整備を図るとともに、学校を核とした地域の活性化につながる活動を支援する。今年度事業計画の地域協力者数をのべ18,313人とする。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) ①地域学校協働活動推進員(通称:地域コーディネーター)の配置により、各校の特色ある授業・大館ふるさとキャリア教育「百花繚乱作戦」の支援、家庭科等の授業や学校行事における地域協力者の対応、児童・生徒による地域ボランティア活動などをコーディネート。 ②地域コーディネーターや地域協力者の活動に対して、学校の実情に合わせた学校支援者補償制度に加入。 ③地域コーディネーター等により、学校ホームページや学校報等により、児童生徒や地域協力者の活動状況を伝えることで地域協力者の意欲向上や新たな人材確保につながる。 今年度の地域協力者数18,140人(計画18,313人)
課題等	国県補助事業を活用した地域学校協働活動推進員(通称:地域コーディネーター)の配置は、地域の活性化や地域全体で子どもを育てる仕組みづくりの一つとして定着している。今後も可能な限り補助事業を活用することで継続していくが、活用できない場合でも市単独事業として継続に努めたい。
学識経験者等の意見	評価のための数値目標が明記されていると、評価がしやすい。評価しやすくするためにも数値目標の設定は必要だと思う。その点で生涯学習課はよく取り組んでいる。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② 家庭教育の充実
	生涯学習課
活動内容	家庭教育推進事業の一環として、市内幼稚園・保育園・小中学校を対象に「子育て講座(40講座)」を開催する。また、「おしゃべり広場ひだまり(12回)」は子育てサポーターと連携し、子育て中の親を対象に育児の悩みや不安の解消を図る。担当者スキルアップ研修には80人の参加を目指す。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 今年度の「おしゃべりひろばひだまり」は前期・後期を通して11回開催。「子育て・孫育て」をテーマとした講話の開催のほか、ものづくり体験、エクササイズなどを行い、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方々、約240名の参加があった。 「子育て講座」は、40団体からの申請があり、39団体が実施しており、約1,966名の参加。 平成29年度より行われている「家庭教育支援チーム推進事業」では、生涯学習フェスティバル・本場大館きりたんぽまつりにおいて、もの作り体験や木育ひろばを開催。各々約2,630名、約1,060名の参加があった。また、市内の小中学校を対象とした家庭教育支援活動では、適応指導「おとり教室」や東中学校において、木育学習を行った。 家庭教育支援関係者等を対象とした「担当者スキルアップ研修会」は、NPO法人孫育て・ニッポンの理事長を務める棒田明子氏を講師に招き、子どもの成長におけるのななめの存在(地域の存在)の大切さなどを学び、79名の参加があった。 今年度の新たな取り組みとして、子育てに関する世代間の相違解消などを目的とした、「孫育て講座」を助産院イスキアの菅原光子氏を講師に招き、地区公民館3会場で開催した。3会場を合わせて約40名の参加があった。
課題等	「おしゃべりひろばひだまり」の参加者数を思うように伸ばすことが出来なかったため、開催日や内容の見直しを行い気軽に参加できるよう改善を図っていききたい。また、チラシ・ポスターのデザインの見直しやSNSを活用するなど広く市民に周知して参加者増につなげたい。子育て親子が集まる場所へのチラシの配布等、関係各所への協力も図っていききたい。(例:乳幼児健診など)
学識経験者等の意見	報告どおりで大変結構である。現代は主な家族構成が核家族になっており、若い親が子育てに悩むことが多い。本(マニュアル)のとおりに行かないとパニックになったりすることが多くなっている。その意味では以前からの母親学級などに合わせて、この「孫育て(講座)」は非常にいい取り組みである。(祖父母に限らず)お年寄りも昔からの知恵(生きる術)を上手に教えることができると思う。人間が生きていくにはいい意味でのアバウトな部分が必要であり、人生には様々なことがあるから、幅を持った考えでの子育てがいいのではないかと考える。教科書どおりにはいかないのが人間の育て方ではないかと思うので、ぜひ継続していただきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-2-2

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	③ 音楽療法士派遣事業
	生涯学習課
活動内容	継続事業として、市内幼稚園・保育園・小中学校からの派遣依頼を受け、自閉症気味な子や発達が気になる子、特別支援学級在籍児童生徒に対し音楽療法を実施し、情緒の安定を図る。 事業計画で年間24回の開催を予定。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 派遣要請のあった市内の小中学校の特別支援学級や、保育園の気になる子を含めた保育園児を対象に全16回の派遣を実施した。(小学校12回、中学校2回、保育園2回) 学校の先生と音楽療法士が協力して音楽療法活動を行い、児童生徒の精神的な安定と他人とのコミュニケーション能力の向上に努めることができた。
課題等	3月中に派遣が決定していた3件は休校のため中止。また、保育園等の5件分についても3月に予定していたが、新型コロナウイルスの集団発生を防止するために申請見送りとなった。よって実施とみなす。 なるべく多くの学校等に派遣できるよう、事業のPRに努めるとともに、音楽療法士の派遣時期が集中しないように調整・対応する。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	新型コロナ感染対策で、年間目標回数に到達できなかったのは仕方がない。 音楽療養は療法士の経費が大変に掛かるものだが、以前に見学した経験からいうと音楽療法活動中、子どもたちに驚くほどの変化があり、大変すばらしい事業だと認識している。是非、継続していただきたい。
	④ 青少年健全育成活動の充実
	生涯学習課
活動内容	青少年健全育成推進方針を策定し、関係機関と連携を図りながらさまざまな活動を実施し、青少年健全育成に対する市民の意識高揚と青少年健全育成のための環境整備を図る。 「青少年を非行から守る市民のつどい」への参加者動員目標を260人とする。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 学校及び青少年関連団体・機関等による青少年問題協議会を開催し、青少年健全育成推進方針の策定や情報共有・事業連携を図った。 7月6日(土)中央公民館を会場に「青少年を非行から守る市民のつどい」を開催し、青少年を非行や犯罪から守り、心身共に健やかに成長できる明るい社会づくり運動に努めた。 ・参集者267人 ・大館曲げわっぱ太鼓公演、内閣総理大臣メッセージ伝達、防犯文集朗読発表
課題等	年度当初に関係団体を対象としたアンケートを実施し、その結果、参加者の高齢化やスクールバンド校の減少等により、今年度から桂城公園での集会や街頭パレードは行わずに屋内開催とした。次年度以降も引き続き屋内開催を予定する。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	青少年健全育成はやらないとならない活動であるが、参加者の高齢化等の理由により、パレードをやめても集まっていたら、実績が出たのなら、R元年度と同じスタイルで継続していただきたい。

重点施策点検・評価表

3-2-3

推進目標						
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援					
重点施策						
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する	担当課(館)				
	⑤ 少年相談センターの活動の充実	生涯学習課				
	活動内容	青少年が抱える悩みや問題を解決するための相談活動や指導員による巡回活動のほか、関係機関・団体・学校等と連携したさまざまな活動を行うことにより、青少年の健全育成を図る。				
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 青少年や保護者が抱える様々な問題に対応できるよう、電話や面接による相談活動を実施するとともに、市内小中学校や、おひとり教室・子ども課等の青少年関連機関との連携を図りながら、問題解決に努めている。また、少年指導員28名により、市内全コンビニ店への子どもの見守り依頼や、街頭パトロール、生徒指導主事協議会との合同巡視など、延べ200回の活動を通して青少年の健全育成に努めた。				
	課題等	年々、相談件数が増加傾向にあり、昨年度には年間200件を超える相談件数となったことから、今年度の4月から相談センター業務を所長と相談専門員による二人体制でスタートした。 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度
	取組の方向性					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続					
	<input type="checkbox"/> 廃止検討					
	<input type="checkbox"/> 単年度					
	学識経験者等の意見	視点を変わると、相談件数が減少するという事は、平安になってきているとみることができる。反対に相談件数の増加は、悩みを抱えた方々が多くなっていると考えられる。体制が2人になったことで、その経歴からの経験も豊富な方々なので、どんな相談にも対応していけると思う。人材としてこれ以上のコンビはないと考えるので、引き続き継続して欲しい。				
⑥ 関係機関への支援	生涯学習課					
活動内容	青少年育成大館市民会議、大館市子ども会育成連合会、大館地区少年保護育成委員会など、青少年健全育成関係団体に活動費の補助や活動支援を行うことにより、地域の青少年健全育成活動の充実を図る。 市補助金：青少年育成大館市民会議 163千円 大館市子ども会育成連合会 255千円 大館地区少年保護育成委員会 124千円					
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 青少年健全育成活動や社会教育活動に関わる上記団体に対して活動費の補助を行ったほか、青少年育成大館市民会議の総会をはじめ、同団体が主催する「青少年育成推進事業2019シンポジウム」の開催補助など、各活動・事務面において支援している。					
課題等	会員の高齢化が進み、これまでと同様の活動が難しくなっている団体もある。 今後も各団体との連絡・連携を密にし、活動費補助のほか、それぞれの活動及び事務面での行政支援に努める。 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度	
取組の方向性						
<input checked="" type="checkbox"/> 継続						
<input type="checkbox"/> 廃止検討						
<input type="checkbox"/> 単年度						
学識経験者等の意見	子ども会育成連合会の活動で、予算内で積極的に指導してくれる方がいるのであれば、支援をお願いしたい。そうすることで、子ども会組織が廃れていくのを諦めるのではなく、やってくれる方がいるのであれば、行政で支援することで活発化していく可能性があるため、支援をお願いしたい。					

重点施策点検・評価表

3-2-4

推進目標			
3	ふるさとへの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		担当課(館)
	⑦ 社会教育委員の活動の充実		生涯学習課
	活動内容	生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、教育委員会点検・評価に対する必要な意見・提言を行い、社会教育活動の推進を図る。 委員に対し学校訪問や研修会等への参加を呼びかけ、約8回の開催に対し約40人以上を目指す。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 北教育事務所主催の学校訪問や教育委員との合同学校訪問、教職員実践発表会への参加を通じ、各校が取り組むふるさとキャリア教育の実績・効果等を再確認した。各種会合等でふるさとキャリア教育を発信するなど社会教育委員活動、市民版ふるさとキャリア教育の推進につなげている。また、社会教育・生涯学習の重点施策や事務事業の点検・評価について協議し、必要な提言を行った。さらに、今年度は第7次社会教育中期計画策定の諮問を受け12~2月に会議を重ね3月に答申した。 令和元年度 訪問等のべ参加人数62人(12回)	
	課題等	ふるさとキャリア教育や学校と地域のつながりの中に社会教育委員として関わり、市民版ふるさとキャリア教育の推進に向け、見える活動を展開していきたい。 今後、策定した社会教育中期計画の実現に向け必要な助言を行う。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	子どもは学校教育・家庭教育・社会教育(地域の教育)の三つが重なったところで育つものである。そういう意味からいくと、社会教育委員と教育委員とが一緒に学校訪問して子どもの在り様を見てくるのは非常によいこと。教育委員は先生方の指導の仕方などを、社会教育委員は玄関の様子(靴、花、整理整頓)や子どもの元気なあいさつなどをとるように、それぞれが役割分担を持ちながら、違った観点から見てきて評価するとよいのではないかと。子どもは学校だけでなく、家庭教育や社会教育も大事であるから、年に何度か行動を共にして勉強するのは大変にいいことなので、継続していただきたい。	
	⑧ 生涯学習推進体制の充実		生涯学習課
	活動内容	生涯学習に関する市民の意見・要望を反映させるため、関係相互団体と連携し、生涯学習推進協議会において協議するとともに、地域において学習活動を奨励するため、生涯学習奨励員の自己研鑽と活動の充実を図り、社会教育主事を養成しながらその組織化を目指す。 社会教育主事 1人発令増を予定。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 生涯学習推進協議会については、7月に幹事会(書面協議)、8月30日に協議会を開催。令和元年度生涯学習推進計画、社会教育推進計画を案件とし、各委員からさまざまな意見等が出され、これを第7次社会教育中期計画にも反映させることとした。 また、生涯学習奨励員については、地元イベントへの積極的な参加、協力等の個人活動の他、総会及び自主研修会の開催、生涯学習フェスティバルへの参加及び協力、被災地支援・交流事業への参加、県及び北鹿地区の総会、研修会への参加などの活動を行った。 講習受講した長木公民館職員を社会教育主事として発令した。	
	課題等	今後、情報プラットフォームを検討するうえで、全庁を巻き込むための組織として幹事会等の役割が重要になる。 生涯学習奨励員について、会議・研修会等への参加者に偏りが見受けられるため、より多くの奨励員が参加できるよう日程等について配慮を要する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	継続していただきたい。		

重点施策点検・評価表

3-2-5

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	⑨ 高齢化社会に対応した生涯学習の充実
	中央公民館
活動内容	公民館サークル活動等の学習成果を生かす場の拡充や、高齢者の豊かな体験・知識・技術・特技を生かす場を充実させるため、子どもとの世代間交流も行う。 今年度実績:老壮大学 全9回 139人(前年度 全9回 139人)中央公民館 全地区公民館(11館)でも高齢者学級を実施 新春書初め交流会34人(同38人)中央公民館 " 32人(同30人)比内公民館
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 中央公民館をはじめ各地区公民館で高齢者学級の育成・強化に力を入れ、公民館祭や地区文化祭などで、活動の成果を発表する場を設けている。中央公民館の書初め交流会では、老壮大学の書道クラブが小学生の指導にあっている。また、各地区公民館の主催事業でも高齢者の団体やサークルが活躍する機会が多く、夏まつりや冬まつりでは子どもと父母、祖父母の3世代が参加して世代間交流事業を行っている。
課題等	超高齢化社会に向かって、益々高齢者が増加する現状とは対照的に、高齢者事業の参加者は毎年減少していたが、今年度の老壮大学入学者は横ばいとなった。特に近年は60歳を過ぎても就労している方が多く、今後は従来の高齢者事業とは別に、中高年勤労者を対象とした新規事業を模索する時期に来ていると感じる。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	少子・高齢社会を迎えている今日、高齢者の健康寿命の向上や生き生きとした生活を過ごしていただくため魅力ある講座を提供していただきたい。高齢者が参加しやすいように、学習と交流のバランスを考えながら実施してほしい。
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)
課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

3-3

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
3	高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する
	担当課(館)
	① 高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施
	中央公民館
活動内容	高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。「高校生まちづくり会議HACHI」の活動を継続して実施するとともに、昨年は活動事例を紹介したり、他団体とのコラボした事業も行われたので、今後も取り組んでいきたい。また、地元の大学ともタイアップした事業を大学側のスケジュールを見ながら進めていく。 今年度実績:活動回数 延べ17回 150人(前年度 22回 207人)
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 「HACHI」では7人の新メンバーが加入、参加校も3校に増えた。今年度は2年連続で「肉博」や「子育てキラキラフェスタ」などのイベントに参加したほか、「おおだて巡り」や「ハチウイン」では自ら企画立案し、話し合いを重ねて準備をし、成功に結び付けた。また、まちづくりワークショップ事業は昨年度で終了したが、引き続き社会福祉事業団や都市計画課職員を講師に「まちづくり活動」について3回にわたり意見交換した。今年度で5回目となるハチウインでは134人(前年度 88人)が参加し、「HACHI」のイベントとして定着している。
課題等	「HACHI」は新規メンバーの参加により20人となったが、主体の3年生が卒業し、現在は2校の13人となった。来年度以降の活動に支障が無いかわ惧される。 また、大学との連携は、行事スタッフのボランティア派遣をお願いしながら、地域の事業への参加を呼び掛けていく。
学識経験者等の意見	「高校生まちづくり会議HACHI」の活動を充実させるため、高校を卒業した元メンバーと接点をもった活動について検討していただきたい。また、地元の大学との連携については引き続き、頑張ってもらいたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)
課題等	
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

3-4-1

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する		担当課(館)
	① 「生涯学習フェスティバル」の実施		生涯学習課
	活動内容	社会教育施設・各種機関・団体等に協賛・参加を呼びかけ、生涯学習に関する実践活動の発表の場や理解する機会を提供し、市民一人一人の生涯学習への意欲を高める。さらに、木育を中心とした事業を開催する。 メイン開催日の中央公民館会場では、今年初開催の木育キャラバンもあり来場者数2,500人を目標とする。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 9月・10月を生涯学習推進月間として、栗盛記念図書館や北地区コミュニティセンターなど、各機関・団体等による協賛イベントが開催された。(延べ参加・入場者数11,350人) 中央公民館会場では、9月21日(土)・22日(日)の2日間に渡り、中央公民館サークル協議会や大館桂桜高等学校、大館市発明協会等による各種展示や体験ブースを行った。また、木のおもちゃを集めた「木育キャラバン」の開催や林業・木工体験など、広く市民が生涯学習に触れながら、木と親しむ機会とした。(来館者数2,435人)	
	課題等	9月・10月は生涯学習フェスティバル協賛イベントのほか、敬老会やきりたんぼまつりなど各種イベント・行事が多い時期であり、ある程度の日程重複は避けられないものとして調整する。また、ほくしか鹿鳴ホール・中央公民館の駐車場は両会場のキャパシティに比べて非常に少ないため、来館者が集中しないよう事業内容等を検討する。	取組の方向性
	学識経験者等の意見	継続していただきたい。	
	② 「大学公開講座」の実施		生涯学習課
	活動内容	市民の多様化・高度化した学習要望に応えるため、地域の高等教育機関と連携し公開講座を開催する。講座内容については、大学の特色を生かしたテーマを設定し、時事に即した内容の講義を行う。 実施校：秋田看護福祉大学(3回)、秋田職業能力開発短期大学校(3回)	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 秋田看護福祉大学の協力のもと、第25回「大学公開講座」を7月2~4日の日程で開催し、1日1テーマとして、同大学の教授よりわかりやすく講義していただいた。今年度は、日常の介護や自分の老後に係る法律をテーマに取り上げたことから、介護職の方や日常家庭で介護していると思われる方の参加があり、受講者数は延べ199人と昨年度の257人と比較して減少したが、各回とも概ね受講者を確保することができた。 また、秋田職業能力開発短期大学校の協力のもと、第2回「大学校公開市民講座2019」を10月14日、同月23日、11月20日の3日間で開催したが、10月14日は、まちづくり課の事業とのコラボレーションという形であったため単独での開催は2日間であった。単独開催の2日間では、同大学教授による環境問題やデジタルアプリケーション※について講義していただき、受講者数は延べ27名であった。 ※デジタルアプリケーション：デジタルデータをもとに創造物を制作する技術のこと。機器としてはレーザーカッターや3Dプリンターなどがある。	
	課題等	大学側には毎年テーマ設定や講師の選定で骨を折っていただいているが、第25回大学公開講座では受講者が減少した。そのため、大学側では、健康、医療、福祉、ボランティア等について市民のニーズに沿ったテーマを選定するために、過去のデータ(テーマと参加者数)を分析して第26回のテーマを選定すること。 秋田職業能力開発短期大学校「大学校公開講座」は、開催時期を第1回開催時より早めたが、大学行事の関係で年末近くになってしまった。第3回では、もう少し開催時期を早くしたい。	取組の方向性
学識経験者等の意見	当市にはせつかく2つの大学があったのに、これまでは秋田看護福祉大だけにスポットが当たることが多かったかもしれない。秋田職業能力短期大学校も当市にある大学なので、それぞれの大学のよさを発揮してもらうためにも、計画して継続していただきたい。		

重点施策点検・評価表

3-4-2

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課(館)	
	③ 地域活動団体への支援	生涯学習課	
	活動内容	大館市連合婦人会等、地域活動団体への補助・活動支援を行うことにより、地域活動の活性化を図る。 市補助金：大館市連合婦人会 248千円 Odate Marching Band TEDAOLE 200千円 おおだてロボット人材育成コンソーシアム 150千円 キッズテラス アット セイジュ(読書活動推進パートナー支援事業) 150千円	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市の予算の範囲内で申請のあったすべての団体に交付できた。 各団体とも会員の確保に努め、活動内容を工夫しながら、衰退しないように努力している。	
	課題等	市の予算の範囲内で補助金を交付し、情報交換しながら活動を支援し続けている。しかし、平成31年度(令和元年度)は前年度同額で交付したが、財政課より、令和2年度以降の市補助金については各団体の繰越額の有無や活動内容による判断を求められ、若干補助金額が減額される団体がある。 地域活動団体については、メンバーの高齢化等による会員減少が著しくなってきた団体もあり、若年層の団体加入による若返り化が課題となっている。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	頑張って継続していただきたい。	
	④ 地区住民や関係団体との連携強化	中央公民館	
	活動内容	地域コミュニティ活動を支えるため、関係団体・関係機関と情報交換を行い、さまざまな角度から支援を行う。また、その活動の様子を関係団体等に紹介することで連携を強化する。特に東日本大震災以降は避難所としての機能の強化がより一層期待され、地区住民との連携強化が不可欠であるため、より良い協力関係を築いていく。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 地区公民館では、運動会やスポーツ大会、文化祭などの行事を、地元町内会や婦人会などと協力して行っているほか、他事業にも地域の団体の意見を反映させている。また、消防署や警察署、危機管理課の出前講座を活用した防災、防犯講座に地域ぐるみで取り組むなどして、関係機関とも連携を図っている。 今年度は、災害時を想定してのご飯の炊き出し体験(比内)や安心して暮らせる地域づくりの勉強会(上川沿)、中学生による地域活性化のアイデア発表会(十二所)などを実施した。中央公民館で出前講座活用した講座は5回(前年度:6回)を数えた。	
	課題等	公民館は、地域コミュニティの拠点であり、地域活動の支援はもちろんのこと、災害時の避難所として位置付けられている。少ない職員数で避難所として機能するためには、地域住民との連携は欠くことができない。 定期的に防災・避難訓練や災害を想定した事業を実施し、より良い協力関係を築くよう努力していきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	災害時、公民館は地区の避難所として地域住民の安全確保の中心的役割が求められる。災害が起きた場合を想定した具体的な対策を町内会と話し合いながら準備を進めていくと同時に、市長部局とも十分に連携して取り組んでいただきたい。		

重点施策点検・評価表

3-4-3

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課(館)
	⑤ 地域コミュニティづくりに向けた支援体制の強化
	中央公民館
活動内容	地域のコミュニティ活動の拠点として、地区公民館の改築は一巡した。今後は分館等整備の進んでいない施設への環境整備を進めていく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 地区公民館の改築は一巡したが、今後の維持管理で大規模修繕や改修が必要となる館もある。また、ほとんどの地区公民館分館は老朽化しており、必要不可欠な修繕で対応しているが、地元の意見・要望を聞きながら、計画的に整備を進めていきたい。 今年度は田代公民館授乳室の改修、早口一分館の玄関ポーチ補修、早口一、早口二、岩野目分館のタタミ表替えや、真中公民館駐車場の舗装工事を行ったほか、ポータブルワイヤレスアンプ、プロジェクター、AEDなど備品の更新により側面からの支援も行った。
課題等	地区公民館分館は15館あるが、老朽施設が多く、計画的な整備にしても長期にわたり、その間に突発的な修繕が多々発生する。また、建物以外にも、ストーブやエアコンの老朽化が進み、故障の都度修繕で対応しているが、計画的に更新する必要がある。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	施設の修繕や改修にあたっては、予算の確保等容易でないと思うが、地区住民の生涯学習の拠点であるので、計画的に工夫しながら継続的に進めていってほしい。
	⑥ 公民館事業の充実と参加促進
	中央公民館
活動内容	公民館の各種事業の内容を充実させ、魅力ある講座を開催する。さらに参加者の動向を見ながらレベルアップを図ることで、活発な公民館活動を展開する。また、既存の事業で参加者の少ない事業でも楽しみに来ている高齢者がいるため、存続できるようにしていきたい。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 各事業の実施後、参加者から事業内容に関する意見や要望などアンケートを取り、集約している。地区公民館では、町内会や関係団体との会合等で常に意見要望を出してもらい今後の事業に反映するように努めている。今年度の生涯学習フェスティバルでは、サエラ(デュエット歌手)のうたごえサロンやゆるりら健康体操、アーカイブコーナーの新企画を実施。地区公民館では、子ども映画観賞会やニューススポーツ体験会(長木)、3館対抗ポッチャ交流会(十二所)、郷土品整備事業(矢立)などの新規事業を実施した。
課題等	事業内容がマンネリ化にならないように、NPO団体や県・市の出前講座、企業のCRS活動(社会貢献)の活用や他自治体の事例を参考にしながら、事業を充実させる。また、地区公民館では、各地区の歴史や風土などの学習素材を取り入れた特色ある事業の掘り起こしを進める必要がある。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	少子・高齢化や60歳以上の勤労者の増加といった社会の変化に対応し、地域住民のニーズを把握しながら既存事業の見直し・改善や新規事業を引き続き実施してほしい。

重点施策点検・評価表

3-4-4

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課(館)
	生涯学習課
⑦	放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業並びにわくわく土曜教室推進事業の実施
活動内容	放課後児童を対象として、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供する。さらに、土曜日等の支援として体験活動や学習機会を提供する。 毎月1回の定例会を実施する。 各施設の横のつながりを図るため、クラブ対抗の大会(ドッジボール、カルタ)を開催する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 今年度も各児童クラブごとに特色ある事業を展開し、直営全体でのドッジボール大会やふるさとカルタ大会等が行われ、他校の児童との交流や支援員同士の交流が図られた。 また、支援員の情報交換やスキルアップを目的として毎月行われている定例会・研修会では、今年度初の試みとして、大館警察署より講師を招いて不審者対応を中心とした防犯対策についての研修を行った。研修後、児童クラブ各館において不審者の来館を想定した訓練が行われるようになり、防犯意識を高めることができた。
課題等	障害児等、支援を要する子どもについて、従事する支援員を適正配置できるように、協議しながら、事故・けがのないように努めていきたい。 また、引き続き支援員の確保、支援員の積極的な研修参加等の人材育成に努めていきたい。
学識経験者等の意見	費用負担は大きいですが、継続していただきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
⑧	「大館ふるさとカルタ」の普及とカルタ大会の開催
	生涯学習課
活動内容	カルタを普及させるとともに、カルタ大会を開催することにより、カルタの読み札や絵札を通して、ふるさとの歴史を学び、郷土愛を育む機会を作る。 初めての試みとして、カルタ大会の運営に高校生ボランティア(目標5人)を募り、審判の他読み手も育成する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 令和2年2月1日(土)中央公民館にて『第2回児童仲良しクラブ対抗カルタ大会』として大館ふるさとカルタを用いた大会を実施。市内直営9施設より小学1~3年生総勢73名が参加した。当日は保護者およそ30名が観覧に訪れたほか、大会の運営にあたり高校生ボランティア8名に運営補助を依頼した。 大会終了後においても、放課後児童クラブでは児童が大館ふるさとカルタで遊ぶ姿が見られ、普及の一助を担えたものと考えます。
課題等	放課後児童クラブ登録児童を対象としたカルタ大会を今後も継続して開催していくとともに、大館ふるさとカルタ普及に向けた新たな取組を見い出したい。
学識経験者等の意見	ふるさとカルタというのは、大変よい取り組みである。カルタを覚えることで、市内の名所などを覚えることにもなる。また、ボランティアで高校生が参加してくれるのはありがたいことだし、大人の参加よりも、子どもたちにとって一緒に遊ぶ機会となり喜ばしいことだと思うので、継続して頑張っていたいただきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-5

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
5	「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める	担当課(館)
	① 図書館運営に関する進行管理	生涯学習課
	活動内容	指定管理制度による図書館運営について、指定管理者の提案書に基づく適正な運営に対する必要な支援と指導を行い、図書館サービスの向上を図り「生涯読書」活動を推進する。 令和元年度は、読書活動推進活動については、市補助金を利用した読書活動推進パートナー事業実施企業(キッズテラス アット セイジユ)を選定し読書活動の推進(多目的ホールに書架コーナーを設置し、閲覧及び貸出の実施)を行う。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 大館市図書館協議会からの提言に沿いながら指定管理者との協議を行い、これまで図書館利用者へのサービス向上を図りながら「生涯読書」活動を推進している。読み聞かせ会の開催や図書館ボランティアの育成、夜の図書館開放など、多様なイベントを通じて来館者が親しみやすい図書館となることにより、利用者の増加を図っている。 また、防犯カメラ映像のモニター監視による館内セキュリティの確保や、入館者数カウンター(センサー)による来館者の把握など、館内環境維持に努めている。
	課題等	少子高齢、人口減少等の社会情勢の変化を踏まえながら、利用者サービスや各種事業の実施、情報発信を充実させ、さらに魅力ある市民に親しまれる図書館運営ができるよう、指定管理者と十分協議しながら支援していく。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	継続して頑張ってください。
	活動内容	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)
	課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

3-6-1

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する	担当課(館)
	① 芸術文化団体への支援	生涯学習課
	活動内容	大館市芸術文化連盟や比内芸術文化協会、田代地区芸術文化協会等、芸術文化団体に対し補助を行うことにより、地域の伝統文化や伝統芸能の活動を支援する。 市補助金：大館市芸術文化連盟 419千円 比内芸術文化協会 112千円 田代地区芸術文化協会 112千円
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市の予算の範囲内での補助金交付を行っている。各団体とも補助金を有効に活用しながら、活動内容を工夫し運営に努めている。
	課題等	高齢化による会員の減少という共通の課題はあるが、各団体とも地域の伝統文化・芸能の保存・承継に積極的に取り組んでおり、今後も衰退しないように支援を継続していく。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	大館市芸術文化連盟の表彰については対象範囲を広げたことで、各校からの推薦件数が多くなったようだが、スポーツ関係の表彰では大会規模による表彰の制約を設けている。今現在は予算内でできていると思うが、どんどん広がっていくと不足になる可能性があるため、芸術・文化でも表彰の制約を設けた方がよいのではないかと。その上で、継続して補助していただきたい。
	② 芸術文化に関する事業の積極的な周知・活用	生涯学習課
	活動内容	文化庁などが所管する各種事業等を関係団体や文化施設・学校等に積極的に周知、活用することにより、地域における芸術文化体験の機会を提供する。 市内小中学校25校全部に呼びかけを行い、巡回公演3校以上で実施を目指す。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市内芸術文化連盟・協会等に対する秋田県芸術文化振興基金やニッセイ財団等による助成事業の周知のほか、小中学校には子どもたちが質の高い芸術活動を身近に感じられる機会として文化庁「文化芸術による子どもの育成事業」巡回公演等の周知や取りまとめを行い、令和元年度には5校で実施。令和2年度は4校が申請している。さらに、2年連続での開催となった文化庁補助の令和元年度伝統文化親子教室事業(地域展開型)「大館市子どもまつり」は大変好評であった。
	課題等	「あきた子どもの文化体験促進事業」や「秋田県青少年劇場」など、学校等が活用しやすい事業について、民間・行政を問わず情報提供に努めていく。文化庁補助事業は、3年目として伝統文化親子教室事業(教室展開型)の申請団体と連携しながら実施予定。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	継続していただきたい。特に郷土芸能を残すにはお年寄りから若い人へ。そして子どもへ傳承することが必要だが、熱心な指導者がいないと難しい面がある。そのような人がいる地域で、学校の理解を得ながら、正課クラブに招くなどして傳承できるとよいのではないかと。それが学社連携のいいところでもある。生涯学習課としては、推奨して継続していける手立てを考えていただきたい。学校とよい関係が築けているとのことだが、子どもは学校以外の家庭、地域でも育てるものであることが少しずつ理解されるようになってきたのではないかと考える。	

重点施策点検・評価表

3-6-2

推進目標																			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援																		
重点施策																			
6	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する</td> <td>担当課(館)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③ 郷土芸能保存協会等との協働</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td>活動内容</td> <td colspan="2"> 子どもから大人まで参加できる「大館市子どもまつり」を開催し、郷土芸能の発表と体験の場を構築する。また、教職員を対象とし郷土芸能体験の場を設ける。 午前の部「郷土芸能発表」 来場者目標300人 午後の部「郷土芸能と食文化体験・秋田杉ひろば・絵画展」 来場者目標200人 「教員のための郷土芸能体験」 参加者目標20人 </td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td colspan="2"> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 昨年に引き続き文化庁より事業を受託し「11/3子どもまつり」と「1/10教員のための体験講座」を開催した。子どもまつり午前の部「郷土芸能発表」には、来場者239人出演者87人の参加があった。午後の部「郷土芸能と食文化体験」の4つのブースに参加者約50人、「秋田犬絵画展と秋田杉ひろば」には見学者約150人。普段は見られない伝統芸能が一堂に会する貴重な機会として好評を得た。子どもの参加割合が少なかったのが残念である。教員体験は19人が参加し地元大館ばやしの理解を深めた。 </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> 学校と連携し郷土芸能体験の親子ワークショップを学校で開催するなど、もっと小中学生の郷土芸能に対する関心と興味を喚起する方策を考えなければならない。 </td> <td> 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td colspan="2"> 子どもたちの参加が思ったほど伸びなかったのであれば、その手立てを考え直して、大成功になるように頑張っていただきたい。子どもが参加すると、親や祖父母の参加も見込むことができる。 </td> </tr> </table>	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する		担当課(館)	③ 郷土芸能保存協会等との協働		生涯学習課	活動内容	子どもから大人まで参加できる「大館市子どもまつり」を開催し、郷土芸能の発表と体験の場を構築する。また、教職員を対象とし郷土芸能体験の場を設ける。 午前の部「郷土芸能発表」 来場者目標300人 午後の部「郷土芸能と食文化体験・秋田杉ひろば・絵画展」 来場者目標200人 「教員のための郷土芸能体験」 参加者目標20人		点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 昨年に引き続き文化庁より事業を受託し「11/3子どもまつり」と「1/10教員のための体験講座」を開催した。子どもまつり午前の部「郷土芸能発表」には、来場者239人出演者87人の参加があった。午後の部「郷土芸能と食文化体験」の4つのブースに参加者約50人、「秋田犬絵画展と秋田杉ひろば」には見学者約150人。普段は見られない伝統芸能が一堂に会する貴重な機会として好評を得た。子どもの参加割合が少なかったのが残念である。教員体験は19人が参加し地元大館ばやしの理解を深めた。		課題等	学校と連携し郷土芸能体験の親子ワークショップを学校で開催するなど、もっと小中学生の郷土芸能に対する関心と興味を喚起する方策を考えなければならない。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	学識経験者等の意見	子どもたちの参加が思ったほど伸びなかったのであれば、その手立てを考え直して、大成功になるように頑張っていただきたい。子どもが参加すると、親や祖父母の参加も見込むことができる。	
伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する		担当課(館)																	
③ 郷土芸能保存協会等との協働		生涯学習課																	
活動内容	子どもから大人まで参加できる「大館市子どもまつり」を開催し、郷土芸能の発表と体験の場を構築する。また、教職員を対象とし郷土芸能体験の場を設ける。 午前の部「郷土芸能発表」 来場者目標300人 午後の部「郷土芸能と食文化体験・秋田杉ひろば・絵画展」 来場者目標200人 「教員のための郷土芸能体験」 参加者目標20人																		
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 昨年に引き続き文化庁より事業を受託し「11/3子どもまつり」と「1/10教員のための体験講座」を開催した。子どもまつり午前の部「郷土芸能発表」には、来場者239人出演者87人の参加があった。午後の部「郷土芸能と食文化体験」の4つのブースに参加者約50人、「秋田犬絵画展と秋田杉ひろば」には見学者約150人。普段は見られない伝統芸能が一堂に会する貴重な機会として好評を得た。子どもの参加割合が少なかったのが残念である。教員体験は19人が参加し地元大館ばやしの理解を深めた。																		
課題等	学校と連携し郷土芸能体験の親子ワークショップを学校で開催するなど、もっと小中学生の郷土芸能に対する関心と興味を喚起する方策を考えなければならない。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度																	
学識経験者等の意見	子どもたちの参加が思ったほど伸びなかったのであれば、その手立てを考え直して、大成功になるように頑張っていただきたい。子どもが参加すると、親や祖父母の参加も見込むことができる。																		
<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td colspan="2"> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td></td> <td> 取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		活動内容			点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)		課題等		取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	学識経験者等の意見								
活動内容																			
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)																		
課題等		取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度																	
学識経験者等の意見																			

重点施策点検・評価表

4-1

推進目標			
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する		
重点施策			
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する		担当課(館)
	① 企画(特別)展の開催とホームページを活用した効果的な情報発信		歴史文化課
	活動内容	HPの更新や、ツイッター、フェイスブックの情報発信目標(風穴館を含む)を、年間300件と設定して取り組む。企画展(特別展)については、銀座清澄画廊展、埋蔵文化財センターの展示などを継続して開催する。展示以外の情報として、ニホンザリガニの飼育情報などについても効果的に発信できるように取り組む。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 施設情報・天然記念物・イベントなどHPの更新35回、ツイッター170件、フェイスブック293件、合計498件の情報発信を行った。また風穴館のYou tube(動画)の視聴回数は513回、ニホンザリガニの動画もリアルタイムで発信した。 博物館の企画展で郷土写真家の作品展示をしたことで非常に多くの方にご来館いただいた。今後もニーズに合わせて企画していきたい。	
	課題等	HP、ツイッター、フェイスブックによる発信効果は、年齢層が限定されることから、紙媒体の新聞、広報などを活用するなど、効果的な情報発信を考えていかなければならない。また各種企画については、お互いの特性を活かして他団体との連携や共催を検討していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	当然継続してやっていくことになると思う。特にザリガニは大館の目玉になっていくと思う。子どもたちも楽しめるし、大館をアピールしていくために良いことである。	
	② 秋田三鶏記念館の孵化事業の安定化		歴史文化課
	活動内容	入卵数の目標を400個に設定し、有精卵の70%を上回る孵化率を目標として、4月から6月まで実施する。入卵開始を少し遅らせることで、入卵数の回復に努めたい。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 入卵数は502個と目標を上回ったが、有精卵に対する孵化率は62.5%と目標を下回った。目標を下回った原因は、孵化率が低い声良鶏の入卵が多かったためだが、気候を見て入卵時期を若干遅らせたほか、3回に分けた孵化についても順調に育雛をすることができた。	
	課題等	安定した卵数を確保できるよう関係者及び関係団体との連携が必要と考える。また、継続して気候を見ながら入卵時期を遅らせるなど、慎重に孵化率の向上に努めていきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	うまく孵化して育ててくれればいいが、飼育者が高齢化しているという問題もあり大変難しいところがあると思う。しかし、昨年同様に県に働きかけるなりして、ザリガニ同様皆さんの力で頑張っていたいただきたい。	

重点施策点検・評価表

4-2

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
2	郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する
	担当課(館)
	① 大館市郷土芸能保存協会、大館市文化財保護協会と連携した事業の推進
	歴史文化課
活動内容	大館市郷土芸能保存協会に加盟する各団体の芸能の記録保存に努め、発表や公開の機会を支援する。また、大館市文化財保護協会の事業を支援し、市内に存在する文化財の公開や保護に努める。今年度は、伝統文化親子教室事業でも更なる発表の機会が期待されている。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	大館市文化財保護協会と共催する文化財展覧会では、市内に存在する文化財について広く公開することができた。また、大館市郷土芸能保存協会加盟団体は、地域の小学生へ郷土芸能を継承する機会を設けたり、他課で開催した伝統文化親子教室に協力し鹿鳴ホールで発表することができた。
学識経験者等の意見	両団体ともに高齢化が進み、独自の事業を継続することが難しい時代を迎えている。しかし、小学校において地域の郷土芸能を継承している活動もあることから、それらとの関わりを検討していきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	
学識経験者等の意見	
	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

4-3-1

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課(館)
	① ニホンザリガニ生息地の再生を目指す
	歴史文化課
活動内容	天然記念物としてのニホンザリガニ生息地再生を目指し、ニホンザリガニの飼育と繁殖に取り組み、その技術習得に努める。今年度は増殖事業の2年目となり、稚ザリガニの育成技術が更に向上することが期待される。人工生息地については、いよいよ工事に入るので、良い環境が整えられるよう取り組みたい。
点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 飼育展示・特別展・YouTubuなどを通して、天然記念物保存の意義や増殖事業の経過について教育普及に努めた。また、男鹿水族館から増殖研究の協力を得たり、札幌で先進事例を発表するなど、対外的な事業も展開し大きな成果とした。人工生息地創出工事は、予定通り完成した。
課題等	博物館で飼育しているニホンザリガニについて抱卵した卵が孵化する前に消失してしまった。原因を探り対処しながら、引き続き増殖技術の習得に努めていく。また、人工生息地へ定着できるよう環境の観察を継続していく。
学識経験者等の意見	卵が消失してしまったとのことで残念だが、原因を探り新たな取り組みをしているようなので頑張っていたきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② 市内遺跡発掘調査及び記録・出土品整理
	歴史文化課
活動内容	新庁舎建設予定地の発掘調査は終了したので、今年は市民体育館・武道館解体部分に取り掛かることになる。まずは関係部署と協議しながら、6月補正予算に事業費を計上し、発掘調査は今年度内に終了予定。官民の開発事業に係る調査も増加しているが、今年度は特に釈迦内館跡の調査が5月から8月頃まで予定されている。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 新庁舎建設に伴う予定地(大館城跡)の発掘調査は目標通り12月には完了、官民の開発事業に伴う調査は12件実施した。しかし、釈迦内館跡については相手方の都合で開発行為が中止となり調査は未実施となったが、これについてはやむを得ない。
課題等	大館城跡の発掘調査は今後も続くため、関係部局とは綿密に協議を重ねながら事業を進める必要がある。また、出土品の整理保存や記録報告を確実・丁寧にしていく。 大館城は歴史的に興味深い分野と考えるため、時機を見て調査の成果について情報発信をしていきたい。
学識経験者等の意見	昨年度、新市庁舎のそばに歴史文化館が欲しいと意見したところだが、新市庁舎内にコーナーを作れるようだと説明があり頑張っていたきたいと思う。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

4-3-2

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課(館)
	③ 鳥潟会館庭園の国指定を目指した取り組みを進める
	歴史文化課
活動内容	国の名勝指定を目指す取り組みとして、文化庁の名勝地調査事業がスタートする。調査期間は3年間とし、最終的には名勝指定の申請に耐えうる報告書の刊行を目指す。初年度は調査委員会の立ち上げと、庭園の堆積土除去、測量などを行う。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	名勝地調査委員会を設立し、名勝指定を目指す上での課題・調査の進め方など詳細なアドバイスと指示をいただきながら進めた。また、庭園の測量などの他、鳥潟家に関わる文献の調査も開始し順調に進めており、来年度も継続していく。 単年度区切りの事業ではないため、スケジュールに沿って遅滞なく進めていくことが重要。また、文化財の価値や文献調査等については専門知識を要するものであるため、委員からご意見を伺いながら慎重に進めていく必要がある。
学識経験者等の意見	事業の補助率は65パーセントと良いと思うので、補助があるうち3年間頑張っていたきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	歴史文化課
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	
学識経験者等の意見	
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

4-4

推進目標			
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する		
重点施策			
4	歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める		担当課(館)
	① 歴史的風致維持向上計画の事業に取り組む民間組織の支援に努める		歴史文化課
	活動内容	「文化遺産活用まちづくり実行委員会」の事業は2年目を迎える。民間の実行委員会であるが、実績に結び付くよう積極的に支援していく。今年度は、ヘリテージマネージャーのステップアップ講座や、大館神明社祭典実行委員会、大館ばやし保存会では、外国語にも対応するパンフレットやホームページ、動画作成等の事業が予定されているので、まちづくり課とも連携しながら、予定されている事業が順調に進むように支援を行う。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 文化遺産活用まちづくり実行委員会の予定していた事業(ヘリテージマネージャー養成講座、後継者育成、シンポジウム開催など)は予定通り実施し、確かな実績を作った。 また事業の実施にあたり、実施団体や関係課と連携を図り、県文化財保護室や文化庁とも協議しスムーズに進めることができた。	
	課題等	歴史まちづくりのソフト部分として、伝統芸能の継承や歴史的建造物の保存活用など期待が高いものの、本委員会への参入団体が少ない。 今後、事業が自立していくために賛同する団体を増やしていく必要があるため、事務的支援を続けてハードルを下げていきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	文章中にあるヘリテージマネージャーだが、カタカナ表記だと事業全体の意味が分かりにくい。今後は誰でも一目で理解できるように()書きして説明いただきたい。	
	② 重要文化財大館八幡神社の覆屋改修に取り組む		歴史文化課
	活動内容	重要文化財大館八幡神社を保護するために、覆屋の建て替えを行う。昨年度作成した実施設計に基づき、今年度ははいよいよ建替工事を行う。当事者(八幡神社)、市、県、文化庁の連携をとりながら、遺漏のないように取り組む。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 予定外の改修部分が追加されたため若干期間は延長したが、改修工事が完了した。 また、当事者、市、県、文化庁、関係課とも連携し、国交省の所管する歴史的風致形成建造物の改修事業と、文化庁補助事業との調整も行うことができた。	
	課題等	令和元年度で事業終了	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	重要文化財の八幡宮を守る大事な覆屋の改修、令和元年度で事業が終わりとのことでご苦勞様でした。	

重点施策点検・評価表

5-1、5-2

基本目標			
5	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充		
重点施策			
1	スポーツ関係団体との連携・支援を強化し、生涯スポーツを推進する		担当課(館)
	① スポーツ関係団体との連携・支援		スポーツ振興課
	活動内容	体育施設の指定管理者である文教振興事業団、スポーツクラブひない、たしるスポーツクラブや体育協会及び競技団体と連携を図り、市民のニーズに応えるきめ細かいスポーツ事業を展開する。今年で7回目を迎えるチャレンジデーは全市民的に生涯スポーツを推進する大きな機会であることから、さらなる広報・啓発活動を実施し、運動やスポーツの習慣化を図るきっかけ作りと位置づけ、推進する。 また、各種大会等の開催・運営にあたり、主管競技団体の高齢化や会員不足により、従来の取り組みが困難になってきている現状である。各競技団体との意見要望を踏まえ、人的支援も含め、市スポーツ振興の基盤である競技団体との連携を図っていく。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等	各種スポーツイベント等の開催・運営にあたり、主管競技団体の高齢化や会員不足により、競技団体だけでは人的資源の確保が困難な状況になってきている。多くの市民がスポーツが親しめるように、スポーツ実施機会の提供と参加だけでなく、スポーツを支える人材のすそ野を拡大するため、スポーツボランティア活動の啓発や競技団体と総合型地域スポーツクラブとの連携など、スポーツを支える人材、組織の充実を図ることが必要である。	
学識経験者等の意見	少子高齢化が、各種スポーツイベント等の運営、人的資源確保に大きく影響していることを危惧しているが、それを乗り越えて取り組み、山田ロードレース大会などの地域スポーツイベントを従来どおり開催していることを評価する。また、スポーツボランティアを活用するなどのイベントを継続するうえで、大事な視点であり、ボランティア募集の際に、低年齢化を図ることで、競技人口の裾野を上げられれば幸いである。		
2	スポーツ少年団や地域スポーツ指導者の発掘・育成に努める		担当課(館)
	① スポーツ少年団指導者や地域スポーツ振興に資する人財の発掘・育成		スポーツ振興課
	活動内容	スポーツ少年団の社会体育化によって、指導者の確保が課題である。毎年スポーツ少年団の指導者研修には多くの保護者が参加され、資格を有し、活動を支えているものの、専門的な指導者の確保は困難な現状である。各競技団体やスポーツ少年団指導者協議会と連携を図り、長期的な指導者の発掘・育成に努める。また、地域のスポーツの振興には、スポーツ推進委員がその役割を大きく担っており、より専門的な指導者が求められている。スポーツ推進委員への研修機会提供による資質向上や地区公民館との連携により広く人財を求め、スポーツ指導者の育成・発掘に努める。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等	社会体育化7年目を迎えるスポーツ少年団活動であるが、学校団においては保護者父兄の指導者が中心であり、どうしても短期間になりがちである。スポーツ少年団指導者協議会を通じて、引き続き長期的に指導できる者の育成、定着を図っていく必要がある。	
学識経験者等の意見	学校単位での活動が百年の歴史があるなかで、指導者の定着など時間がかかることは致し方がないと考えている。これまでの取り組みを継続することで、関係者、指導者の意識改革、理解の浸透を促し、指導者の育成、定着に努めていただきたい。		

重点施策点検・評価表

5-3、5-4

基本目標			
5	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充		
重点施策			
3	東京2020オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン事業を推進する		担当課(館)
	① 東京2020オリンピック・パラリンピックに係るホストタウン事業の推進		スポーツ振興課
	活動内容	平成30年12月にタイ王国脳性麻痺スポーツ協会と、秋田県及び大館市でパラリンピック競技種目である「ボッチャ競技」と「陸上競技」の事前キャンプ実施に関する基本合意書を締結した。今年度は、タイ王国選手の事前キャンプ受入れや、タイ王国への市民の派遣事業、また8月には「1年前イベント」を開催し、東京オリンピック・パラリンピックへの機運醸成を図るとともに、2020年の事前キャンプに向けて市民一丸となってタイ王国選手をバックアップする体制を構築する。	
	点検評価	<p>■目標を上回る □目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>8月に、タクミアリーナにおいて、開幕1年前イベントを開催。パラスポーツ体験やパラリンピック出場を目指すアスリートのトークショーに、市内外から約200人が参加し、パラスポーツや障害を持つ方々への理解を深めていただいた。</p> <p>9月25日から10月5日にかけて、タイ王国パラ選手団37人による東京2020パラリンピックに向けた合宿が実施され、パラ陸上競技は長根山陸上競技場、ボッチャ競技はタクミアリーナにおいて、熱のこもった練習が行われた。9月28日には、タクミアリーナにおいて市民との交流会を開催し、ボッチャ日本代表「火ノ玉JAPAN」との交流試合で世界トップレベルのテクニックを間近で見ることができたほか、両国代表選手を交えたボッチャ体験やパラ陸上競技選手とのリレーゲームなどを通じて、市民との交流を深めることができた。</p> <p>また、10月11日には、タイ王国パラ選手団の事前キャンプに合わせたイベント開催や、県内初となる手話言語条例の施行、施設のバリアフリー化などが評価され、障害者に優しいまちづくりに取り組む「共生社会ホストタウン」に、本市が県内で初めて登録された。</p>	
	課題等	今回の合宿で得られた課題を踏まえ、改めてパラリンピック直前合宿の受入れに万全を期すとともに、事前キャンプ実施のみならず、交流計画に基づき、タイ王国との教育・文化・スポーツの相互交流事業の取り組みを推進する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	所期の計画を越えた活動ができています。パラスポーツのトップアスリートを招聘し、市民が世界レベルに触れる、パラスポーツを理解する機会を持てたことが大きな成果である。「共生社会ホストタウン」に、県内で初めて登録されたことも、当初の計画にない大きな成果である。		
4	大会や合宿を誘致し、スポーツツーリズムによる地域活性化を推進する		担当課(館)
	① スポーツ大会や合宿誘致などのスポーツツーリズムによる地域活性化の推進		スポーツ振興課
	活動内容	大型体育施設を活用した、大会、イベント、合宿誘致などのスポーツツーリズムを推進するため、より積極的な活動を行う。スポーツイベント誘致を促進するため、補助制度を継続する。また、合宿誘致では、東京、北海道等での直接勧誘や誘致用パンフレット作成・配布を行い、PR活動に努め、スポーツツーリズムによる地域活性化を図る。	
	点検評価	<p>□目標を上回る □目標どおり □目標をやや下回る ■目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>東京都で競技団体、大学、高校への誘致活動を行ったほか、北海道・東北地区の大学などへのパンフレット送付及び施設利用可能日の周知など広報活動を実施した。新型コロナウイルス感染防止の影響により合宿中止が相次ぎ、12団体(前年比△4団体)、199人(前年比△166人)の利用実績であった。スポーツイベントについては、4月の山田記念ロードレース大会(1,606人)、8月の「東京パラリンピック1年前イベント」(200人)、9月の「タイ王国パラチーム事前合宿市民交流会」(180人)が開催された。新型コロナウイルス感染防止の影響により、3月開催予定であった「バスケットBリーグ大館大会」が中止となり、前年度実績11,000人と比較し、大幅に下回ることとなった。</p>	
	課題等	合宿誘致については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、利用団体、宿泊者数とも前年度より大幅に減少した。今後は、新型コロナウイルスの収束を注視したうえで、誘致活動を推進する必要がある。スポーツイベントについても、指定管理者、体育協会と連携を図りながら、引き続き誘致を進め、交流人口の拡大を推進する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	諸般の事情により、前年度実績に基づいた元年度数値目標を大きく下回ったことは残念である。パンフレット送付や利用可能日の周知など誘致活動に引き続き取り組み、新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた情報発信をしていただきたい。		

重点施策点検・評価表

5-5、5-6

基本目標	
5	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充
重点施策	
5	近隣市町村と連携し、スポーツ施設の広域利用を推進する
	担当課(館)
	① 近隣市町村との連携したスポーツ交流の推進
	スポーツ振興課
活動内容	競技力向上やスポーツ機会の提供を図るため、近隣市町村と連携し、スポーツ施設の相互の広域利用を推進する。近隣市町ならではの体育施設(ニプロハチ公ドーム、パークゴルフ場、屋内プール、スキー場等)でのイベント等を、連携して互いの活用を検討、スポーツ交流を推進する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>長根山陸上競技場の風速計の不具合により、北秋田市より借用し、大会運営を行った。また、鹿角市より写真判定機器の不具合とのことで必要な備品の貸出を行った。これまで、近隣市町村等市外のスポーツ少年団や中学校部活動で地区体育館を利用した場合、料金が発生していたが、市内のスポーツ少年団や中学校部活動にとって、技術向上や交流を深める機会と捉え、市内団体と同様に無料とした。 常陸大宮クロスカントリー大会に市民3人を派遣、観光文化でのつながり以外にも、スポーツを通じた交流を深めた。</p>
課題等	少子高齢化、人口減少により各自治体で主要な体育施設を新たに整備することは困難な状況にあることから、施設の広域利用を推進するとともに、広域圏内の大規模なスポーツイベントや互いの施設の有効活用を図るべく、情報共有し、スポーツ交流を推進する。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	市外のスポーツ少年団、中学校部活動の市内地区体育館の利用について、市内スポーツ少年団等の活動と同様に利用料等を無料としたことは、利用拡大とスポーツ振興に繋がることであり、評価したい。 スポーツ施設の備品について、日常からメンテナンスを引き続き努めていただきたい。 常陸大宮市の大会への市民派遣について、スポーツ交流事業として評価したい。
6	多様なニーズに対応したスポーツ・レクリエーション活動の環境整備に努める
	担当課(館)
	① 花岡総合スポーツ公園及び田代スポーツ公園の整備、スポーツ施設の計画的な改修及び修繕の推進
	スポーツ振興課
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広域的なスポーツ交流の拠点として、花岡総合スポーツ公園の整備計画(第一体育館・教室棟等の解体後の利活用)を推進する。 ・田代スポーツ公園の野球場内野グラウンド排水改修工事を行うほか、同球場及び多目的広場のトイレ洋式化工事を実施する。 ・スポーツ施設について、利用者の安全性の確保が図れるよう、計画的な改修及び修繕に努める。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>・花岡総合スポーツ公園について、施設整備に向けた整備計画(案)を策定し、3月の市議会、スポーツ振興審議会に説明した。 ・田代スポーツ公園の野球場内野グラウンド排水改修工事を完了し、内野グラウンドの水はけが改善された。また、同公園内の野球場、多目的運動広場のトイレ洋式化を実施し、利用環境の改善を図った。 ・長根山陸上競技場シャワー室改修、ポッチャ用具の購入、スキー競技用タイム計測機の更新を実施した。</p>
課題等	花岡総合スポーツ公園について、圏域住民のスポーツを通じた体力・健康づくりを目的とし、多様なニーズに対応し、年齢や性別、スポーツ経験の有無に関わらず気軽に利用できる場を提供するスポーツガーデンとして整備を進める。 老朽化が進んでいる体育施設について、解体等に伴い、利用者との意見交換を実施し、利用者の再配置を実施する。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	花岡総合スポーツ公園の完成、供用開始が楽しみである。 老朽化が進んでいる体育施設の解体等については、利用者の方々の理解が得られるよう努めていただきたい。